

# お別れ会<sup>わか</sup>

「ふじ田先生のに顔絵を色紙<sup>しきし</sup>にかきたい人はいますか。」

ぼくたちのクラスで教育実習生のふじ田先生のお別れ会をすることになった。学級会で話し合い、お礼の色紙とお礼の紙でつくった花たばをわたすことになった。

いよいよ、たん当者を決めていくことになった。

色紙には、みんなのメッセージを書き、その真ん中に絵をかくのだから、せきにん重大だ。ぼくは、絵をかくのは上手な子<sup>じょうず</sup>にまかせたらいと思っていた。みんなも同じように思っているのか、だまったままだった。

とつぜん、ひろしさんが

「やってみよう。」

とみんなの前で言った。みんな、思わずひろしさんの方を見た。

(ひろしさん、だいじょうぶかな。あまり絵をかくのは得意<sup>とく</sup>じゃないけど……。)

と、ぼくは思った。

クラスはざわざわしはじめた。

「ひろしさんで、だいじょうぶかな。」

「ふじ田先生、よろこんでくれるかな。」



そんな声がぼくの周りから聞こえてきた。

ただしさんが

「さい近、ひろしさん、図工の時間もがんばっているよ。」

みきさんも、

「ひろしさん、休み時間にふじ田先生の顔をかいているよ。」

と言った。ぼくは、ひろしさんをおうえんしたかったけど、そのことが言えなかった。

二人が言ってもクラスの中は、ざわざわしたまま。

その時だ。「かずおさんが手をあげてる！」

ぼくはびっくりして、かずおさんの方を見た。

みんなの前で発表するのが苦手なかずおさんが手をあげていたのだ。

「ひろしさんをおうえんするよ。ひろしさん、休み時間にふじ田先生とよく遊んでいたし、絵を

かくのをずっとがんばっているよ。」

とかずおさんが言った。その意見を聞き、ぼくは、思わずみんなの前で

「みんなでひろしさんをおうえんしよう。」

と言っていたのだ。その後、さんせいしてくれる友だちがふえていき、絵のたん当はひろしさんに決まった。

ぼくは、うれしくなり、お別れ会のためにがんばろうと思った。

